

日本での交換留学

政治大学（台湾）

康婕茹(コウショウジョ)

私は台湾の政治大学から来たコウショウジョと申します。交換留学生としてお茶の水女子大学で勉強できて本当にうれしいです。

学期が始まってから三ヶ月、新型コロナウイルスの影響で、ずっと日本に行けず自国におり、とても残念だと思いました。しかし、ズームなどのサービスを通して、何とかオンラインで授業を受けることができました。

台湾で日本語で行う授業をすべて受けたことがあるので、最初にオンライン授業に参加したとき、先生が何を話しているかは大体理解できました。しかし、それでもいくつか困ったことがあります。一つは、日本の大学の授業時間は台湾と違い、一時限は50分ではなく90分です。そのため、最初に授業を受けるとき、少し慣れませんでした。しかし、何回か授業に参加したうち、だんだん慣れてきました。もう一つは、オンライン授業は対面授業と違い、時々インターネットの調子が悪く、またはマイクやスピーカーにトラブルがあり、先生が話した内容を聞き逃したことがありました。こんなときは本当にひやひやしました。

ずっと自国にいるものの、やはり日本の学生と交流したいので、日本の学生と一緒に参加できる授業を履修しました。このような授業では、日本の学生とグループになってディスカッションしたり発表したりして、日本の学生はどのように発表を準備するのかを知ることができ、面白かったです。しかし、時々自分の日本語能力の不足で、グループのほかのメンバーとうまくコミュニケーションを取れず、ほかのメンバーの足を引っ張っているのではないかを心配していました。これは、今まで交換留学生としての最も大きなチャレンジだと思います。しかし、勇気を出し、自分の意見をはっきり言ったら、メンバーたちも親切に返事してくれて、私の不安はすべて杞憂でした。このように、日本の学生と一緒に授業に参加することはとても大変で、諦めようと思うときもありましたが、授業に参加したおかげで、私は日本人の友達ができました。オンライン授業なのに、このようなことができ、諦めず努力したかいがありました。

お茶の水女子大学は日本のほかの大学より厳しいと聞いたことがありますが、確かに授業の課題が思ったより多くて難しかったです。しかし、すべての授業を受けた後、自分の日本語が上達したとも感じました。

最後に、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、国際課の小西さんに感謝したいです。学期が始まる前に交換留学についての質問を丁寧に答えてくださってありがとうございました。そして、指導教官の申先生に、いつも毎月の振り返りシートを確認していただき本当にありがとうございました。最後に、私が受けた授業の先生方はみんな親切ですが、特に萩原先生と松田先生には、授業以外も色々サポートしていただき、心から感謝しています。

現在、コロナウイルスで世界中はまだまだ厳しい状況にありますが、ワクチン接種などを通して、コロナウイルスが早く終息できるよう、先生方と授業で知り合った友達と一日も早く日本で会えるように願っています。